





今月号の表紙は、

カサをさしながら、外で楽しそうに
うさぎさん達があそんでいる絵です!!

長くつをバッチリはいて、水にまりへジャンプ=3
雨の日だけのあそびですねっ

絵をかく事と、なわとびが趣味で、

ピアノをひく事や、ホムホムプリンが好きな
女の子が書いてくださいました♡♡

院長はじめ

スタッフ一同バリエリ感謝

いたします😊



ある町がありました。一人の旅人がその町にやってきました。町の入り口の門のところに一人の老人が座っていました。旅人は聞きます。「おいさん、この町はどんな町？」

おいさんは聞きます。「あなたが今までいた町はどんな町でしたか？」

旅人は答えました。「いやあ、前にいた町は嫌な人ばかりでろくな町じゃなかったよ」「そうですか、この町もあなたが前にいた町と同じ町です」。

また別の日に旅人が来る。「おいさん、この町はいったいどんな町ですか？」おいさんは聞く。「あなたがこの前にいた町はどんな町でしたか？」「私が今までいた町は、すばらしい町で、人々は親切で、あんなにより町はありませんでした」。「そうですか、この町もあなたが前にいた町と同じ町です」と答える。

「致知出版社会社長の小さな人生論より抜粋」
二人の旅人が来た町は同じなんです。

環境というものは、その人によって(その心が)
決めるということも結局この話は私達に
示していると思う。環境によって右往左往
することなく環境を自ら創造できる様
にしなければならぬ。決して環境に支配
されることなく。

「蒔かれた所に咲きなさい」この言葉にも通
ずる。

もし、自分にとっていまいるその場所が厳しい環境で
あったならそれは、自分の花を咲かせる土壤に他
ならない。

コンラート・ローレンツというノーベル賞学者は、「子供の時
に肉体的に辛い経験を与えないと、大人になって
人間的に不幸だ」と言っている。同感である。

前述の話を読んだ時、戦慄を感じた。理由は今まで
面接をした際、幾度となく質問を受けた中身と同じだった
からだ。看護師は何人いるのか。何才なのか。事務員は？
私に言わせれば「そんな事は全く関係がなく、やるかやらない
かその一点に尽きる。因みにこの質問をしてきた人を採用
したことは一度もない。

今から足を踏み入れる世界に一抹の不安を抱くのは当然で
す。しかし採用通知を受け取り、やると決めたのは、
粉れもなくその人本人である。